

# 《上下水道部 令和5年度予算見積方針》

## 部内マネジメント責任者

部長 横山 晃

総括副部長 福井 教之

副部長 島田 恭

## 予算見積にあたっての基本的な考え方および重点事項

### 【施策全体の方向性、基本的な考え方】

- ◆安心・安全で安定した水の供給に努めます。
  - ・「安全でおいしく飲める水」を安定してお届けするため、適切な上水道施設の整備や維持管理を行います。
  - ・災害に強いライフラインの確保のため、計画的な施設の更新・災害対策に取組みます。
- ◆下水道を通じ、豊かな琵琶湖の自然を守り、快適な暮らしを支えます。
  - ・下水道施設の適切な維持管理を行い、汚水の適正処理に努めます。
  - ・下水道整備も概成し、今後、未水洗化世帯の下水道への早期接続を促し、水洗化率の向上に努めます。
  - ・災害に強いライフラインの確保のため、計画的な施設の更新・災害対策に取組みます。

### 【重点事項】

- ◆配水管更新事業  
基幹管路である中大口径管、医療拠点および災害対策拠点、避難所に至る管路の更新による耐震化を優先的に進めます。
- ◆浄水場施設整備事業  
浄水場の耐震化、浸水対策および経年劣化した施設・設備の更新を行います。
- ◆汚水管渠整備事業  
下水道施設の計画的な更新と災害対策を進めます。

### 【健幸都市づくりの推進に向けた部内の考え方・主な事業】

- 上下水道部は、健幸都市基本計画の基本方針の一つである「まちの健幸づくり」の推進に向けて、下記事業を実施します。
- ◆「安全でおいしく飲める水」を安定してお届けするため、上水道施設の整備更新・耐震化や適切な維持管理を行います。
  - ◆公衆衛生向上のため、下水道施設の更新や耐震化を進めるとともに、未接続の世帯や事業所に対して下水道への早期接続を促します。

## 【見 積】令和5年度 当初予算額(一般会計)

所 属	予算額(千円)		令和5年度予算の特徴
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
上下水道総務課(水道事業)	140,668	2,268	・水道事業については、浄水場施設の災害対策に向けた取り組み、下水道事業については、浄化槽の適切な維持管理を行うように啓発・指導に向けた取り組みに重点を置いた予算編成を行いました。
上下水道総務課(下水道事業)	929,047	929,047	
上下水道施設課	2,986	2,986	
合 計	1,072,701	934,301	

## 【前年度】令和4年度 当初予算額(一般会計)

所 属	予算額(千円)		
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
上下水道総務課(水道事業)	82,124	2,624	
上下水道総務課(下水道事業)	970,648	970,648	
上下水道施設課	2,813	2,813	
合 計	1,055,585	976,085	

## 【増 減】(【見積】-【前年度】)

所 属	予算額(千円)		予算額の主な増減理由
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
上下水道総務課(水道事業)	58,544	▲ 356	・水道事業における歳出総額の増については、耐震補強、浸水対策事業の本格化に伴い工事費が増加し、一般会計出資金が増加したこと等によるものです。 ・下水道事業における歳出総額の減については、過去に借入を行った企業債の償還が進み、企業債元金や支払利息が減少したこと等によるものです。
上下水道総務課(下水道事業)	▲ 41,601	▲ 41,601	
上下水道施設課	173	173	
	0	0	
	0	0	
合 計	17,116	▲ 41,784	

主要な事業(新規・拡大・重点事業等) (一般会計および特別会計)

事業名	事業費(千円)	一般財源		事業概要
配水管更新事業	542,240	0		第2次草津市水道ビジョン〔経営計画(経営戦略)〕に基づき「基幹管路である中大口径管、医療拠点および災害対策拠点、避難所にいたる管」の更新による耐震化を優先的に進めます。
浄水場施設整備事業	613,024	138,400		両浄水場における耐震補強、浸水対策および経年劣化した施設・設備の更新を行います。
汚水管渠整備事業	210,739	0		下水道施設の計画的な更新と災害対策を進めます。

枠配分額(当該経費に係る予算見積上限額)に対する見積状況

所 属	一般行政経費(千円)			扶助費(千円)			枠配分額を超過した場合、その理由
	A 枠配分額	B 見積額	A-B ▲は枠超過	A 枠配分額	B 見積額	A-B ▲は枠超過	
			0			0	
			0			0	
			0			0	
			0			0	
			0			0	
			0			0	
			0			0	
合 計	0	0	0	0	0	0	

マネジメントの視点による財源配分、事務事業の見直し等の考え方について

<p>【水道事業】 第2次草津市水道ビジョン〔経営計画(経営戦略)〕に基づき、浄水場施設の燃料費や物価上昇による材料費の高騰がある中においても、中長期的な経営の健全性を保ちながら、上水道施設の更新や災害対策に対する投資的経費に予算を重点的に配分しました。</p> <p>【下水道事業】 施設の維持管理については、物価高騰の影響などにより、経費の削減は難しい状況にありますが、下水道サービスの低下を招かないよう、経営の健全性を保ちながら必要経費を見積り、安全・安心に下水道をご利用いただけるよう、適切な維持管理に努めます。 また、一般会計からの繰出金については、過去に借入を行った企業債の償還が進み、企業債元金や支払利息等の減少により、昨年度に対し、41,601千円の減となっており、草津市下水道事業第9期経営計画(経営戦略)に基づき、適正な下水道事業会計の経営が図られていると考えます。</p>
---